

令和7年（2025年）度 鹿児島市「食育」に関する市民意識調査

Q 1. あなたご自身のことや家族構成についておたずねします。

① あなたの性別をお聞きします。

1. 男性
2. 女性
3. こたえたくない

② あなたの学年（年齢）をお聞きします。（7を選択した方は年齢を記入してください。）

1. 中学1年
2. 中学2年
3. 中学3年
4. 高校1年
5. 高校2年
6. 高校3年
7. その他（年齢 歳）

③ あなたも含めて、何人でお住まいですか。

1. 1人
2. 2人
3. 3人
4. 4人
5. 5人
6. 6人
7. 7人以上

④ 同居されている方をすべて選んでください。

1. 父母
2. 祖父母
3. 兄弟姉妹
4. その他（具体的に ）

⑤ あなたは、家族や友人と食卓を囲み、食事を楽しむ機会を増やすなど、食を通じたコミュニケーションの充実を意識をしていますか。

あてはまるものを1つ選んでください。

1. 必ずしている
2. おおむねしている
3. 時々している
4. あまりしていない
5. 全くしていない

⑥ あなたは、朝食を家族と一緒に食べることがどのくらいありますか。

この中から1つ選んでください。

- 1. ほとんど毎日
- 2. 週に4～5日
- 3. 週に2～3日
- 4. 週に1日程度
- 5. ほとんどない

⑦ あなたは、夕食を家族と一緒に食べることがどのくらいありますか。

この中から1つ選んでください。

- 1. ほとんど毎日
- 2. 週に4～5日
- 3. 週に2～3日
- 4. 週に1日程度
- 5. ほとんどない

⑥、⑦のどちらか1つでも1または2と答えた方に、お聞きします。

⑧ あなたは、食事を家族と一緒に食べることは、一人で食べるよりどのような良い点があると思いますか。最もあてはまるものを3つまで選んでください。

- 1. 楽しく食べることができる
- 2. 家族とのコミュニケーションを図ることができる
- 3. 規則正しい時間に食べることができる
- 4. 栄養バランスの良い食事を食べることができる
- 5. 安全・安心な食事を食べることができる
- 6. 食事の作法を身に付けることができる
- 7. 食文化を伝えることができる
- 8. 食の知識や興味を増やすことができる
- 9. 調理や配膳（はいぜん）、買物など、食事作りに参加することができる
- 10. ゆっくりよく噛んで食べることができる
- 11. 自然や食事を作ってくれた人などに対する感謝の気持ちや心を育むことができる
- 12. 食欲がでる（おいしく食べることができる）
- 13. その他（ 具体的)
- 14. わからない

Q2 「食育」に関する意識等についておたずねします。

「食育」とは、心身の健康の増進と豊かな人格形成のため（人間性を育むため）、食に関する知識や食を選択する力を身に付け、生涯を通して健全な食生活を実践することができる人間を育てることで、その中には、規則正しい食生活や栄養バランスのとれた食事などを実践したり、食を通してのコミュニケーションやマナー（作法）、あいさつなどの食に関する基礎を身に付けたり、自然の恵みへの感謝や、伝統的な食文化などへの理解を深めたりすることが含まれます。

- ⑨ あなたは、「食育」という言葉や、その意味を知っていますか。この中から1つ選んでください。
1. 言葉も意味も知っている
 2. 言葉は知っているが、意味は知らない
 3. 言葉も意味も知らない

- ⑩ あなたは、食生活に気を配ったり、食に関する知識を学ぶなど、「食育」に関心がありますか。この中から1つ選んでください。

1. 関心がある
2. どちらかといえば関心がある
3. どちらかといえば関心がない
4. 関心がない
5. わからない

⑩で3または4を選んだ方に、お聞きします。

- ⑩-1 あなたが、「食育」に関心がない理由は何ですか。この中から3つまで選んでください。

1. 自分や家族の食事や食生活に関心がないから
2. 食事や食生活への関心はあるが、他のこと（塾、部活動、趣味など）で忙しいから
3. 食事や食生活への関心はあるが、食費を安くすることの方が重要だから
4. 食品の安全性に関心がないから
5. 食事や食生活を特に意識しなくても健康だから
6. 食べ残しや食品の大量廃棄など、日頃から気にしたことがないから
7. 産地や製造過程など気にしたことがないから
8. その他（具体的に _____ ）
9. 「食育」自体についてよくわからないから

- ⑪ あなたは、ふだんの食生活で、「食育」を実践していると思いますか。この中から1つ選んでください。

1. とてもそう思う
2. そう思う
3. あまりそう思わない
4. 全くそう思わない
5. わからない

Q3 現在の食生活・生活習慣についておたずねします。

⑫ あなたは、家での食事の際、食事作りや後片付けなどを手伝いますか。
この中から1つ選んでください。

1. よく手伝う
2. 時々手伝う
3. 手伝わない

⑬ あなたは、食事を楽しみにしていますか。この中から1つ選んでください。

1. 楽しみにしている
2. 楽しみにしていない
3. わからない

⑭ あなたは、1日に2回以上「主食、主菜、副菜（※）」のそろった食事を食べることは、週に何日ありますか。この中から1つ選んでください。

※「主食」：米、パン、麺類などの穀物で、主として糖質エネルギーの供給源となるもの
 「主菜」：魚や肉、卵、大豆製品などを使った副食の中心となる料理で、主としてたんぱく質や脂肪の供給源となるもの
 「副菜」：野菜などを使った料理で、主食と主菜に不足するビタミン、ミネラル、食物繊維等を補うもの

1. ほぼ毎日
2. 週に4～5日
3. 週に2～3日
4. ほとんどない

⑮ あなたは、ふだんゆっくりよく噛んで食べていますか。
この中から1つ選んでください。

1. ゆっくりよく噛んで食べている
2. どちらかといえばゆっくりよく噛んで食べている
3. どちらかといえばゆっくりよく噛んで食べていない
4. ゆっくりよく噛んで食べていない

⑯ あなたは、ふだん朝食を食べますか。この中から1つ選んでください。

1. ほとんど毎日食べる
2. 週4～5日食べる
3. 週2～3日食べる
4. ほとんど食べない

⑩で2、3、4を選んだ方に、お聞きします。

⑩-1 朝食を食べないときの理由は何ですか。

この中からあてはまるものを3つまで選んでください。

1. 時間がない
2. 食欲がわからない
3. 朝食を食べるより寝ていたい
4. 減量（いわゆるダイエット）のため
5. 朝食が用意されていない
6. 以前から食べる習慣がない
7. 食べたり準備することが面倒である
8. 保護者が食べていないから
9. その他（具体的に _____ ）

⑪ あなたの保護者はふだん朝食を食べますか。この中から1つ選んでください。

1. ほとんど毎日食べる
2. 週4～5日食べる
3. 週2～3日食べる
4. ほとんど食べない
5. わからない

⑫ あなたは、食事に関する作法（箸づかい、食べ方など）に気をつけていますか。

この中から1つ選んでください。

1. 十分に気をつけている
2. おおむね気をつけている
3. 時々気をつけている
4. あまり気をつけていない
5. 全く気をつけていない

⑬ あなたは、郷土料理や伝統的な料理（※1）など、地域や家庭で受け継がれてきた料理や味、箸づかいなどの食べ方・作法（※2）を受け継いでいますか。この中から1つ選んでください。

※学校や地域の人、保育所や学校等で教えてもらったことを含みます。

※1 「郷土料理や伝統料理」は、その地域に特有の料理や、年越しそばなど古くから受け継がれ伝えられている料理ですが、いわゆる「おふくろの味」など、その家庭で受け継がれてきた家庭料理も含まれます。

※2 「食べ方・作法」は、「お椀を手に持つ」、「迷い箸をしない」、「音をたてない」など、日常の食事の際のマナーや、食事の際の挨拶である「いただきます」や「ごちそうさまでした」など、料理を作ってくれた人や自然の恵みへの感謝などの気持ちの表現等も含まれます。

1. 受け継いでいる（どちらかというと受け継いでいる）
2. 受け継いでいない（どちらかというと受け継いでいない）
3. わからない

⑳ あなたは、食事の際に「いただきます」「ごちそうさま」のあいさつをしていますか。
この中から1つ選んでください。

1. 必ずしている
2. おおむねしている
3. 時々している
4. あまりしていない
5. 全くしていない

㉑ あなたは、鹿児島の郷土料理(※)を何種類知っていますか。この中から1つ選んでください。

※【鹿児島の郷土料理】の例

酒ずし、さつますもじ(ちらし寿司)、鶏飯、つけあげ(さつまあげ)、きびなごのさしみ、
かつおのたたき、がね、さつま汁、呉汁、かいのこ汁、豚骨、あくまき、からいもんねっ
たぼ、かるかん、かからん団子、ふくれ菓子 など

1. 7種類以上
2. 5～6種類
3. 3～4種類
4. 1～2種類
5. 知らない

㉑で1、2、3、4を選んだ方に、お聞きします。

㉑-1 知っている郷土料理の名前を1つご記入ください。

(

)

㉒ あなたは、鹿児島の郷土料理を何種類食べたことがありますか。この中から1つ選んでください。

1. 7種類以上
2. 5～6種類
3. 3～4種類
4. 1～2種類
5. 食べたことはない

㉓ ご自宅で行事食を伴う伝統的な行事(※)を年間にどの程度行っていますか。

この中から1つ選んでください。

※伝統的な行事と行事食の一般的な例示として次のようなものがあります。

- ・正月(1月：おせち、お雑煮、七草粥等) ・節分(2月：まめ等)
- ・桃の節句(3月：いこ餅、五目ずし等)、春分の日(3月：ぼた餅等)
- ・端午の節句(5月：あくまき、かからん団子等) ・七夕(7月：ソーメン等)、土用(7月：うなぎ等)
- ・お盆(8月：煮しめ、かいのこ汁、といもがらのなます、落花生豆腐、団子等)
- ・十五夜(9月：月見団子等)、秋分の日(9月：おはぎ等) ・七五三(11月：千歳飴等)
- ・冬至(12月：かぼちゃ料理等)、大晦日(12月：そば等)

1. 7回以上
2. 5～6回
3. 3～4回
4. 1～2回
5. 全く行わない

Q 4 地産地消、農林漁業体験についておたずねします。

- ②4 あなたは、「地産地消」（その地域でとれたものをその地域で消費するという意味）についてどの程度知っていますか。この中から1つ選んでください。
1. 言葉も意味も知っている
 2. 言葉は知っているが、意味は知らない
 3. 言葉も意味も知らない
- ②5 あなたは、これまでに「農林漁業体験」に参加したことがありますか。この中から1つ選んでください。
1. 種まきから収穫までなど、全体を通した体験をしたことがある
(家庭菜園等での野菜栽培、学校等でのミニトマト等の鉢植栽培、しいたけのコマ打ち体験及び収穫、牛の飼育、漁業体験などを含む)
 2. 収穫体験など部分的にしたことがある
(芋掘り体験、観光農園でのミカン狩り等摘み取り、乳しぼり、いけすでの魚の餌やり体験、たけのこ堀体験などを含む)
 3. したことがない

Q 5 食品の選択に関することをおたずねします。

- ②6 あなたは、安全な食生活を送るために、どのような食品を選択するとよいかや、どのような調理が必要か等、食品の安全性に関する知識があると思いますか。この中から1つ選んでください。
1. 十分にあると思う
 2. ある程度あると思う
 3. あまりないと思う
 4. 全くないと思う

- ②7 あなたは、「食品ロス（※）」という問題を知っていますか。この中から1つ選んでください。

※「食品ロス」とは、まだ食べられるのに廃棄される食品のことです。
日本では、まだ食べられるのに廃棄される食品、いわゆる「食品ロス」は472万トン
(参照：農林水産省及び環境省「令和4年度統計」)です。

1. よく知っている
 2. ある程度知っている
 3. あまり知らない
 4. ほとんど・全く知らない
- ②8 あなたは、「食品ロス」を軽減するためにどのようなことに取り組んでいますか。
当てはまるものをすべて選んでください。(選択肢の番号を○で囲んでください)
1. 小分け商品、少量パック商品、バラ売り等、食べきれる量を購入する
 2. 冷凍保存を活用する
 3. 料理を作りすぎない
 4. 飲食店等で注文し過ぎない
 5. 日頃から冷蔵庫等の食材の種類・量・期限表示を確認する
 6. 残さず食べる
 7. 「賞味期限」を過ぎてもすぐに捨てるのではなく、自分で食べられるか判断する
 8. その他 (具体的に)